

議員氏名：岡田 幸次郎

議案番号：議案第21～25号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

令和8年度二宮町国民健康保険特別会計予算

令和8年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算

令和8年度二宮町介護保険特別会計予算

令和8年度二宮町下水道事業会計予算

討論内容：

少し長くなりますが、よろしく申し上げます。

私は町長提出議案、第21号については反対、第22号、23号、24号、25号については、賛成の立場で討論いたします。

まず、本予算において、物価高騰対策はじめ、子育ての支援、教育施策、介護福祉施策のほか、日常的な行政サービスの維持に必要な経費及び事業予算が織り込まれ、適正に計上されている点は評価します。

住民生活を支える基礎的な行政運営は、安定的に継続する姿勢は重要であり、その点は否定をするものではありません。しかしながら、本予算案には、将来の財政運営を安定させるための中長期的な視点が欠けています。人口減少、少子高齢化、社会保障費の増大、公共施設の老朽化、防災力強化など、町が直面する課題は明らかであり、これらに対して、戦略的に備える姿勢が予算から読み取れません。

特に指摘したいのは、この10年後、町政100周年の姿を描き、そこから今年やるべきことを事業予算に落とし込む、その視点が欠けているところです。

具体的には、3点ほど、指摘を挙げたいと思います。

まず、1点目は、ふるさと寄附金は、全国自治体が競争的に取り組む重要な自主財源となっておりますが、本予算には、寄附金を増大するための戦略が弱いです。

本来であれば、今回の予算は約500万だが、ストレッチした予算にして、10年後の予算目標を設定し、それを達成するためのふるさと寄附金増収プロジェクトチームを設置し、将来、予算に対して体系を整え、取り組みを体系的に進め、安定財源に向けた積み上げや、寄附金を活用した未来投資の見える化などについても検討が必要と考え、そこに予算化をしていくべきです。

2点目は、人口減少、少子高齢化が進む中で、将来の人口ビジョンに合った高齢者の安全移動の確保について、あるべき姿を描き、そこに向けた未来の戦略性のある投資が欠けている点です。

高齢者の安全移動の確保、DX、スマートシティ化に対して、10年後の高齢者の安全移動対策としてビジョンや投資の方向性を含め、DX、スマートシティ化の明確なロードマップを描き、その基盤をつくり、今年から段階的に進めていく必要がありますが、そこに、未来投資の予算として、計上すべきです。

本来であれば、スマートシティ準備プロジェクトを立ち上げ、庁内に横断する、横断チームを設置する。また、10年後のまちの姿を描き、将来ビジョン及び中期事業計画を策定する。さらには、有識者や住民参加型の議論を進めていく。このような施策を明確に予算化して、位置づけるべきです。

3点目は、若者、子育て世代の定着と移住促進について、予算が不足しています。

二宮町の未来を支えるのは、若者、子育て世代であり、その定着と移住促進は、町の持続可能性に直結する最重要テーマにもかかわらず、専用の予算枠やプロジェクトとしての明確な姿が見えず、そのための戦略性のある予算が十分に位置づけられているとは言えません。

町には、自然環境や都心へのアクセスといった強みがある一方で、住まいの確保のための空き家の活用と住宅支援、子育てのしやすさのための子育て支援の見える化、また、若者、移住者の交流活動拠点といった点で、依然として取り組みが弱いままです。

本来であれば、空き家バンクの本格運用とリノベーションの補助をして住まいの不安を解消し、移住者の受皿をつくること。また、若者、子育て世代に向けた住宅家賃支援の試行事業をして、小さくてもいいので、モデル的に始め、ニーズと効果を検証することなど、若者、子育て世代の定着は、さきに述べたスマートシティ化と連動し、重要な柱でもあります。

上記のような施策を明確にして、未来投資として、予算強化をすべきです。

今回、主に指摘した事業予算については、これから町100周年に向けた最重要テーマであり、今年から着手すべき未来投資です。町の未来を形づくる意思表示でもあり、戦略だと考えます。

本予算は、その戦略性に欠けていることから、先送りできないと考え、反対討論いたします。